

電車とおおり



(ロイヤリティフリー pixabayより)



今月の表紙
パリ・オリンピック
パリ・パラリンピック
イメージ

ホームページ
はこちら



もくじ

- 1. 入院中の子ども達が花火鑑賞 …… 2p
- 2. こどもなつまつり 開催！ …… 2p
- 3. こども子育て支援室3周年記念講演会 …… 3p
- 4. 糖尿病予防のための講演会 …… 3p
- 5. 骨粗鬆症の薬物治療 …… 4p

7/26に開幕したパリ・オリンピックは、色々物議を呼ぶ判定や選手村等の環境の話題もありましたが、日本勢の活躍もあり、熱狂のうちに8/11閉会しました。8/28にはパリ・パラリンピックが開会し、9/8まで熱戦が繰り広げられます。

今回の表紙ならびに背景画像はパリの観光名所の画像を採用しております。(全てロイヤリティフリーのpixabayより引用しております。)



基本方針

- 道南の基幹病院として急性期医療に取り組みます。
- 断らない救急医療を実践し、住民の信頼と期待に応えます。
- 総合周産期母子医療センター及び北海道がん診療連携指定病院として高度で専門的な医療を提供します。
- 「患者さまの権利」を尊重し、安心して安全なチーム医療を実践します。
- 医療環境の発展と充実のため、地域の行政・医療機関との連携を強化します。
- ワークライフバランスに配慮した職場環境づくりと人材育成に力を入れます。

【患者さまの権利】

- ・安全で良質の医療を平等に受ける権利
- ・自らが受けている医療について、十分な説明を受け、知る権利
- ・セカンドオピニオンを求める権利
- ・自らが受ける医療に参加し自己決定する権利
- ・個人のプライバシーが守られる権利
- ・個人として常にその人格、価値観が尊重される権利

【患者さまの義務】

- ・自らの健康状態を医療者にできるだけ正確に知らせる義務
- ・医療者の説明や自らの疾病状態の理解に務める義務
- ・病院の規則や医療者の指示に従い、医療に参加・協力する義務
- ・他の患者さまの治療や医療者の業務に支障をきたさない義務
- ・受けた診療に対し、医療費を支払う義務

1. 入院中の子ども達が花火鑑賞

8月1日 函館港まつり開幕を彩る第69回道新花火大会が開催されました。

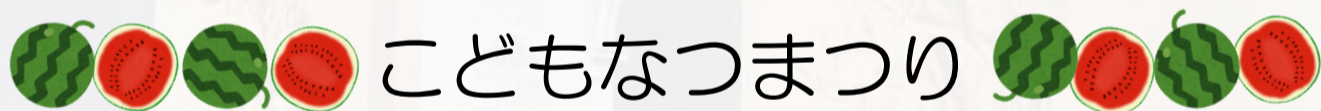
当日は入院中のお子さまに花火大会を楽しんでもらうため、普段は職員しか立ち入ることができない、南棟8階を開放し、花火を鑑賞してもらいました。

当日は天気にも恵まれ、花火は良く見えたこともあり、打ち上げ花火が上がるたびに、歓声が上がっていました。



2. こどもなつまつり 開催！

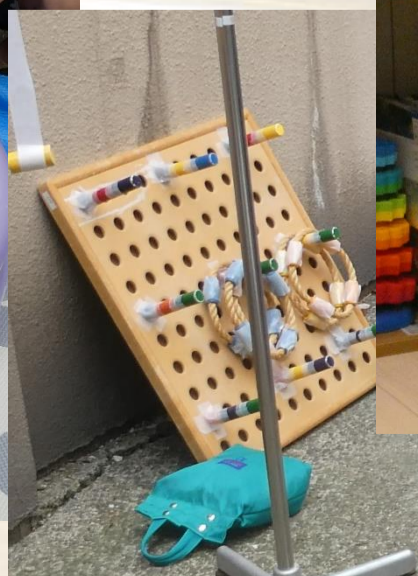
令和6年8月9日(金) 14:00~15:30に初めての試みとして、函館中央病院 中庭・子ども子育て支援室にて



を開催しました。

子ども子育て支援室スタッフ、小児病棟スタッフ、リハビリテーション科スタッフが準備と運営を行い、ヨーヨー釣り、射的・輪投げや絵本の読み聞かせを行いました。

また、景品も用意し、参加頂いたお子さんと保護者の方、当院スタッフの笑顔が溢れるイベントとなりました。



3. こども子育て支援室3周年記念講演会(令和6年9月5日(木) 18:30)

函館中央病院に「こども子育て支援室」を開設してから3年が経過しようとしています。皆さまに支えられ今を迎えられたことに感謝し、3周年記念講演会を開催します。

「こどもと共に、子育てを共に、地域と共に」という理念の下、様々な出会いに思いを馳せると、中には私たちが困らせるようなこども(かつて子どもだった大人も)がいることに気付きます。果たして私たちは、その困らせるこどもと共に歩めているのか、困らせるということは、実は困っているということではないかと自戒の念に至ります。

記念講演会でご講演くださる大阪大学の野坂祐子さんと藤岡淳子さんは、トラウマや加害に関する研究のパイオニアであり、私たちに重要な知見を与えてくださると共に、私たちの視点とは異なるものの見方を示し「あそっか」と気付きを与えてくださることと思います。困らせるこどもの背景に思いを巡らせ、手を差し伸べられる、そのようなあたたかい地域を一緒に作りましょう。

お申し込みは、右記QRコードよりお願い致します。



函館中央病院 総合医療支援センター こども子育て支援室 3周年記念講演会

うそをつく、文句ばかり言う、暴言・暴力、怠惰・無気力
～トラウマの視点で子どもたちを捉えなおし、あたたかい地域をつくらう～

講師

野坂祐子(のさかさちこ)さん 大阪大学大学院 人間科学研究科 教授
藤岡淳子(ふじおかじゅんこ)さん 大阪大学大学院 人間科学研究科 名誉教授

函館中央病院に「こども子育て支援室」が開設し3年が経過しようとしています。皆さまに支えられ今を迎えられたことに感謝し3周年記念講演会を開催します。「こどもと共に、子育てを共に、地域と共に」という理念の下、様々な出会いに思いを馳せると、中には私たちが困らせるようなこども(かつて子どもだった大人も)がいることに気付きます。果たして私たちは、その困らせるこどもと共に歩めているのか、困らせるということは、実は困っているということではないかと自戒の念に至ります。記念講演会でご講演くださる大阪大学の野坂祐子さんと藤岡淳子さんは、トラウマや加害に関する研究のパイオニアであり、私たちに重要な知見を与えてくださると共に、私たちの視点とは異なるものの見方を示し「あそっか」と気付きを与えてくださることと思います。困らせるこどもの背景に思いを巡らせ、手を差し伸べられる、そのようなあたたかい地域を一緒に作りましょう。
参加をご希望の方は、お申し込みフォームまたはQRコードより、氏名・所属・職種をご記載ください。FAXやメールでもお受けします。心よりお待ちしております。

2024年 9月5日(木) 18:30~20:30
入場無料 先着400名 場所: 函館市民会館 小ホール
お申し込みフォーム・QRコード
<https://forms.gle/rLatpkJ2AfUq6hk87>

お問い合わせ 函館中央病院 こども子育て支援室 藤井・川崎・岩城
電話: 0138-52-1231 FAX: 0138-51-2069 メール: codomo@hakochu-hp.gr.jp

4. 糖尿病予防のための講演会(令和6年9月8日(日) 9:00)

函館市糖尿病対策推進事業

糖尿病予防のための講演会
糖尿病のおはなし 予約不要 入場無料

9/8日 9:00~10:10 (8:45開場)

「おはなし① 予防について」
函館中央病院 糖尿病・内分泌内科 科長 高橋 清彦 先生

「おはなし② 合併症について」
函館中央病院 糖尿病・内分泌内科 医長 小野 真祐子 先生

会場 函館市医師会看護・リハビリテーション学院 講堂 (函館市田家町5番16号)

定員 先着100名

当日、参加者には Hakobit150ptプレゼント!!
Hakobitのダウンロードはこちら

特定健診のご案内
同日に同建物で函館市の特定健診(集団健診)を実施! この機会にぜひご受診ください
受付時間: 9/8(日) 8:30~10:30
会場: 函館市医師会健診検査センター (講演会会場と同建物内)
予約: 不要 (お勤めの方は職場にご確認ください)
持ち物: 保険証、受診券

※講演会の参加に関わらず受診可能
※被用者保険の方も受けられる場合があります。(詳細は職場やお持ちの受診券等でご確認ください)
※がん検診についてはこちら
健診問合せ: 医師会健診検査センター TEL43-8801

主催: 函館市 後援: はこだて市民健幸大学
講演会問合せ: 函館市保健福祉部健康増進課 TEL32-1515

函館市糖尿病対策推進事業の一環として、函館市主催、はこだて市民健幸大学後援による糖尿病予防のための講演会『糖尿病のおはなし』が令和6年9月8日(日)に開催されます。

当院糖尿病内分泌内科医である、高橋科長と小野医長が講演致します。

また、同日には特定健診を受診できるほか、はこだて健幸アプリ「Hakobit」150ポイントがプレゼントされるそうです。

是非ご参加ください。

開催日時: 令和6年9月8日(日) 9:00(8:45開場)
場所: 函館市医師会看護・リハビリテーション学院 講堂 (函館市田家町5番16号)

演題①: 「おはなし① 予防について」
講師①: 糖尿病・内分泌内科科長 高橋 清彦 先生
演題②: 「おはなし② 合併症について」
講師②: 糖尿病・内分泌内科医長 小野 真祐子 先生
定員: 100名 (先着: 予約不要) / 参加費=無料

お問い合わせ: 函館市保健福祉部健康増進課 (電話0138-32-1515)

5. 骨粗鬆症の薬物治療



薬剤師(骨粗鬆症マネージャー):尾崎 弘明

近年、テレビなどで骨粗鬆症に関するサプリメントが登場し話題となっておりますが、皆さんの周りに骨粗鬆症と言われた方、又は現在骨粗鬆症の治療を受けている方はいらっしゃいますか。骨粗鬆症は、骨の強度が低下し、骨折しやすくなる病気です。

原因としては、高齢や生活習慣など様々な要因がありますが、特に女性は閉経に伴い女性ホルモンが減少するので、男性よりも女性の方が、骨量が減少し骨折しやすくなります。骨粗鬆症が進行すると骨がスカスカでもろくなり、転倒やくしゃみなどでも骨折を起こしてしまいます。

一度骨折を起こすと、周りの骨に負担がかかるため、連鎖的に骨折を起こしてしまう「ドミノ骨折」の危険性が生じます。この「ドミノ骨折」を予防する手段の一つとして薬物治療があります。

骨粗鬆症の薬物治療は、「骨を壊す働きを抑えるお薬」と「新しい骨をつくる働きを促すお薬」の大きく2つに分かれます。「骨を壊す働きを抑えるお薬」は主に飲み薬、「新しい骨をつくる働きを促すお薬」は主に注射薬が当てはまり、骨密度の程度や骨折の危険性などを考慮して選択されます。

薬物治療を受ける際の注意点は、お薬の用法が複雑であるということです。飲み薬は毎日、週1回、月1回飲むお薬があります。注射薬は月1回、インスリンのように自分で毎日1回自己注射する薬剤もあります。そのため、薬剤師又は医療従事者からの説明を聞き、薬物治療を受けていただくことが重要となります。

骨粗鬆症は痛みなどの自覚症状がほぼ無いため、お薬を自己中断してしまう方がいらっしゃいます。お薬を自己中断すると、骨の強度が低下し再び骨折しやすい状態に戻ってしまいます。結果として、痛みを訴えて病院に訪れた時には、既に骨折を起こしており入院となる方が散見されます。

そのため、定期的に骨密度などの検査を受け、お薬を飲み続けることも重要です。お薬が飲みづらいなどあれば、ぜひ医師や薬剤師に相談して下さい。